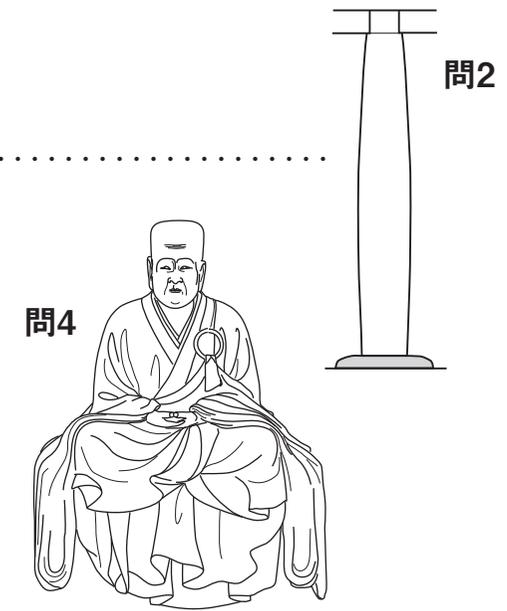


設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

- 例題 全日本宗教用具協同組合が定める仏壇の日は毎月27日である。
- 問1 四苦とは生老病死のことである。
- 問2 ギリシャ建築の影響を受けたとされる法隆寺の胴張りのある柱の様式はエンタシスと呼ばれる。
- 問3 天台宗は隋の時代に智顛ちぎによって確立され『華嚴経』を最高の経典とした。
- 問4 禅僧の肖像絵画、肖像彫刻を頂相ちんそうと呼ぶ。
- 問5 高野山の奥の院では入定した最澄が生きているという信仰の元、毎日のお給仕が行われている。
- 問6 西本願寺の南側に位置する興正寺を本山とするのは真宗興正派である。
- 問7 総本山久遠寺（山梨県身延町）、大本山本門寺（東京都大田区）は浄土宗の寺院である。
- 問8 真言宗の『勅修百丈清規ちやくしゅうひやくじょうしんぎ』には位牌祭祀のあり方が定められている。
- 問9 「当流には、木像よりは絵像、絵像よりは名号といふなり」と語ったとされるのは蓮如である。
- 問10 江戸時代には、寺に帰属することを定めた寺請制度が作られた。
- 問11 江戸時代には縁日が盛んになったが、18日は観音菩薩の縁日である。
- 問12 曹洞宗の『修証義しゆしやうぎ』は江戸時代にまとめられた。
- 問13 仏法僧に帰依することを誓うのが「三帰依文さんきえもん」である。
- 問14 般若心経は日本の仏教全宗派各派が読誦する経典である。
- 問15 真宗大谷派の仏壇では阿弥陀如来を中心として一般的には九字名号・十字名号を安置する。
- 問16 亡くなってから3年後の祥月命日が三回忌である。
- 問17 今年11月18日に生まれた赤ちゃんは、来年の1月1日に数えて2歳となる。
- 問18 撥遣供養はっけんくやうとは魂抜きのことである。
- 問19 仏教では死んでから次に生まれ変わるまでの間を生有と言う。



採点欄

--	--

(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×回答欄

- 問20 金封に記すお布施の布施とは六波羅蜜の一つである。 ○
- 問21 研磨で用いるサンドペーパーは320番よりも800番のものが目が細かい。 ○
- 問22 右のように格子状になった仏壇の天井部分を格天井と呼ぶ。 ○
- 問23 右の金箔の製法は「縁付箔」のものである。 ×
- 問24 呂色漆は油分を含む漆である。 ×
- 問25 拭き漆とは木地に生漆を吸い込ませて拭き取る作業を繰り返して仕上げる技法である。 ○
- 問26 右のように^く削った角を木瓜と呼ぶ。 ○
- 問27 仏壇公正競争規約・施行規則において、「海外」と表示すべきもののうち、組立・仕上げの工程が日本で施工されたものは「海外（日本組立品）」と表示できる。 ○
- 問28 ウォールナットは東南アジアで産出される木材である。 ×
- 問29 仏壇公正競争規約でカリンは「紫檀」と表示ができる。 ○
- 問30 アッシュとは^{たも}櫛のことである。 ○
- 問31 右の木目は柾目である。 ×
- 問32 浄土真宗本願寺派の仏壇で四具足の華瓶は「かひん」と読む。 ×
- 問33 五種香、十種香とは^{ずこう}塗香のことである。 ×
- 問34 右の位牌の様式を呂門と呼ぶ。 ○
- 問35 仏具などを飾る荘厳は「そうごん」と読む。 ×
- 問36 ^{こはく}琥珀とは松・杉・檜類の樹脂が埋もれて化石となったものである。 ○

問22



問23



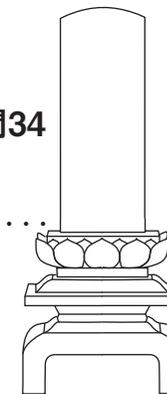
問26



問31



問34



採点欄

--	--

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

- ×回答欄
- 問37 戒名で日号を付けるのは日蓮宗である。
- 問38 生前に授かった戒名を記した、生前に作る位牌のことを「逆修牌」と呼ぶ。
- 問39 金属製の鋳型に熔解した金属を、圧力をかけて製造する方法を^{なまがたちゅうぞう}生型鋳造と呼ぶ。
- 問40 タニ沈香とはベトナム、ラオスなどで産出される沈香のことである。
- 問41 お水を入れる神具を^{へいし・へいじ}瓶子と呼ぶ。
- 問42 不当な二重価格は景品表示法における有利誤認表示に該当する。
- 問43 不利益になることを意図的に隠した場合、消費者契約法によりお客様は契約を解除することができる。



設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の回答欄に書いてください。

例題

例題 真言宗の宗祖は《道元》である。

「ダルマ」の名で知られ禅の開祖とされる^{ほだいだるま}菩提達磨は《問1 中国》の^{めんぺき}面壁の修行で知られています。

平安時代末期から鎌倉時代には^{ようさい・えいさい}栄西が中国に渡り、禅の教えを受け、帰国後は京都に建仁寺を開き《問2 ^{こうぜんごくろん}興禅護国論》を著します。

鎌倉時代になると中国から来た禅僧により、現在の《問3 横浜市》に臨済宗の大本山である建長寺や円覚寺が開かれます。

一休禅師は《問4 室町時代》の禅僧で蓮如とは同時代の人です。江戸時代には白隠が《問5 曹洞宗》の立て直しを図り、庶民にも理解できる《問6『坐禅和讃』》を著しました。位牌祭祀の習慣は元々禅僧によってもたらされたと言われますが、儒教では位牌のことを《問7 ^{しんしゅ}神主》と呼んでいました。

設問2 ○×回答欄

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

採点欄

--	--